

C-1 題材の指導計画と評価計画

(全 12時間)

次	小題材名	ねらいと学習活動	評価計画	
一 次	(1) 布について考えよう (1時間)	○「布」や「針」「糸」に関心をもつ。 ・「布」を通し衣生活を考える。 ・「ぬう」ことについての学習問題を考え、作っていく。	・衣生活に関心をもっている。 (関・意・態) 観察、自己評価	
二 次	(2) 手ぬいに挑戦	① 針と糸を使ってみよう (2時間)	○裁縫用具の名前や使い方を理解する。 ○玉結び、玉どめができる。 ・針と糸、玉結び、玉どめ (ネームカード、当番表)	・裁縫用具の名前や安全な取り扱い方が分かる。(知・理) ペーパーテスト、観察 ・玉結び、玉どめができる。(技能) 観察、作品、自己評価、相互評価
		② いろいろな手ぬいに挑戦しよう (3時間)	○なみぬい、返しぬい、かがりぬいができる。 ○基礎縫いを理解する。 ・なみぬい、本返しぬい、半返しぬい、かがりぬい (マスコット、マイふきん)	・なみぬい、返しぬい、かがりぬいができる。(技能) 観察、作品、自己評価、相互評価 ・手ぬいのそれぞれの特徴や違いが分かる。(知・理) ペーパーテスト
		③ ボタンつけをしよう (1時間)	○ボタンつけができる。 ・ボタンつけ	・ボタンつけができる。(技能) 観察、作品、自己評価、相互評価
三 次	(3) 小物作り	① 小物作りの計画 (1時間)	○作りたい小物の形や縫い方製作計画について考える。 ・小物の計画を立てグループで意見を出し話し合う。	・小物製作の計画を立てることができる。(技能) 観察、ワークシート、自己評価、相互評価
		② 小物の製作 (1時間)	○小物の製作手順について理解し、意欲的に取り組む。 ・計画にしたがって小物を製作する。	・小物の製作手順や時間の見通しが分かる。(知・理) 観察、自己評価 ・製作する楽しさを味わおうとしている。(関・意・態) 観察、自己評価
		③ 小物の製作についての話し合い (1時間)	○よりよい作品を製作するために、目的に応じたぬい方を考えたり、自分なりに工夫したりしている。 ・製作途中で、同じ小物同士話し合いをさせ、よりよい作品作りに生かし合う。	・よりよい作品を作るために、友だちの意見を生かして工夫している。(創工) 観察、ワークシート、自己評価、相互評価
		④ 小物の製作 (2時間)	○裁縫用具を安全に扱い手縫いの小物を製作する。 ・小物の製作をする。 ○よりよい方法を考えたり、自分なりに工夫したりして、小物を製作する。 ・小物の製作をする。	・裁縫用具を安全に扱い、目的に応じた基礎縫いで小物製作をする。(技能) 観察、作品、自己評価、相互評価 ・製作する物の目的に応じてぬい方やデザインを工夫している。(創工) 観察、作品、自己評価、相互評価 ・製作した物を活用する喜びを味わうことができる。(関・意・態) 観察、自己評価

